
PRTG
富士通 PRIMERGY サーバー
監視手順書
2022 年度
Rev.1.0

2022.04.28

目次	
1	はじめに..... 1
1.1	本資料について..... 1
1.2	本資料で監視する内容..... 1
2	本資料が想定する構成..... 1
3	手順..... 2
3.1	PRIMERGY の iRMC で SNMP を有効化..... 2
3.2	PRTG での設定..... 4
3.2.1	デバイス(監視対象)として iRMC を追加..... 4
3.2.2	「SNMP デバイスの資格情報」の設定..... 5
3.2.3	SNMP Fujitsu システム正常性 v2 センサーの追加..... 6
3.2.4	「SNMP Fujitsu システム正常性 v2」センサーで監視できるコンポーネント例..... 8
3.2.4.1	CPU..... 9
3.2.4.2	Logical Disk..... 9
3.2.4.3	Memory..... 10
3.2.4.4	Overall Status..... 10
3.2.4.5	Physical Disk..... 11
3.2.4.6	Power Supply Redundancy..... 11
3.2.4.7	Power Supply..... 12
3.2.4.8	RAID Controller..... 12
3.2.4.9	Service Processor: Battery..... 13
3.2.4.10	ServerView RAID Agent..... 13
3.2.5	SNMP トラップレシーバーセンサーの追加..... 14
3.2.5.1	SNMP トラップレシーバーセンサーのメッセージ画面..... 15
4	まとめ..... 15
5	免責事項・使用限定事項..... 16

変更履歴

版	発行日	変更内容
Rev. 1.0	2022/04/28	初版作成

1 はじめに

1.1 本資料について

本資料ではネットワーク監視ソフトウェア「PRTG Network Monitor」(以降 PRTG と略記)を使用して、富士通株式会社「PRIMERGY」サーバーを iRMC 経由で監視する手順を紹介します。

※掲載されている商品またはサービスの名称等は、各社の商標または登録商標です。

1.2 本資料で監視する内容

PRTG は PRIMERGY 監視専用のセンサー(組み込み済み監視機能)として「SNMP Fujitsu システム正常性 v2」センサーを標準搭載しています。センサーを選ぶだけで PRIMERGY のハードウェアコンポーネントのステータスを iRMC 経由で監視できます。また、「SNMP トラップレシーバー」センサーで PRIMERGY からの SNMP トラップを監視することができます。本資料では主に「SNMP Fujitsu システム正常性 v2」、「SNMP トラップレシーバー」センサーについて説明します。

2 本資料が想定する構成

本資料では次の構成を想定しています。

- ・ PRTG はインストール済み
- ・ PRIMERGY では iRMC が有効化済み
- ・ PRTG が iRMC と通信可能
- ・ iRMC 経由で PRIMERGY のハードウェアコンポーネントのステータスを監視

また、検証時は以下のバージョンを使用しました。

PRIMERGY

PRIMERGY RX2530 M6 型名:PYR2536R2N

(OS:Windows Server 2019 Standard)

ServerView iRMC S5 Web Server 3.31P

ServerView Agents for Windows V9.60.04

ServerView Operations Manager for Windows V9.70.00

PRTG

v22.1.75.1594

3 手順

ここから PRTG で PRIMERGY を監視する手順を説明します。

3.1 PRIMERGY の iRMC で SNMP を有効化

PRTG で PRIMERGY を監視するために PRIMERGY の iRMC で SNMP を有効化します。使用する SNMP のバージョンは v2c、SNMP トラップは v1 で設定します。

iRMC の Web GUI にログインし、[設定]タブをクリック

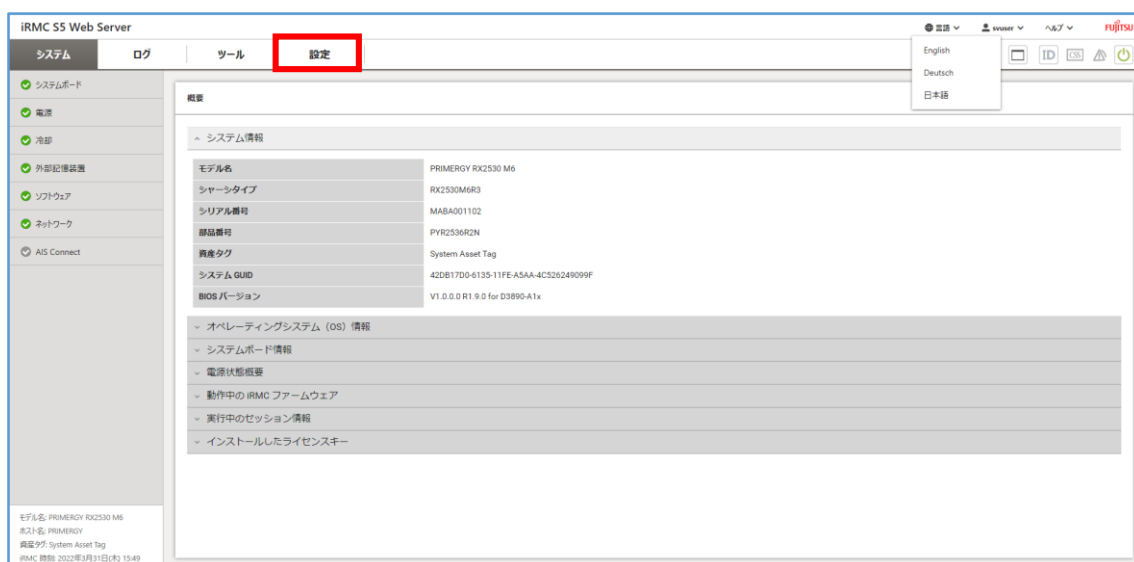


図 1 iRMC 初期表示

[サービス]の SNMP 欄を次のように設定

SNMP を有効にする: ✓ (チェックを入れる)

SNMP 設定

SNMP ポート: 161

SNMP プロトコル: 全て (SNMPv1/v2c/v3)

SNMP トラップ送信先

SNMP コミュニティ: public (デフォルト設定)

SNMP ユーザ: SNMPv3 ユーザなし

エンジン ID: (デフォルトのまま)

SNMP トラップサーバー 1: <PRTG の IP アドレス> プロトコル: SNMPv1

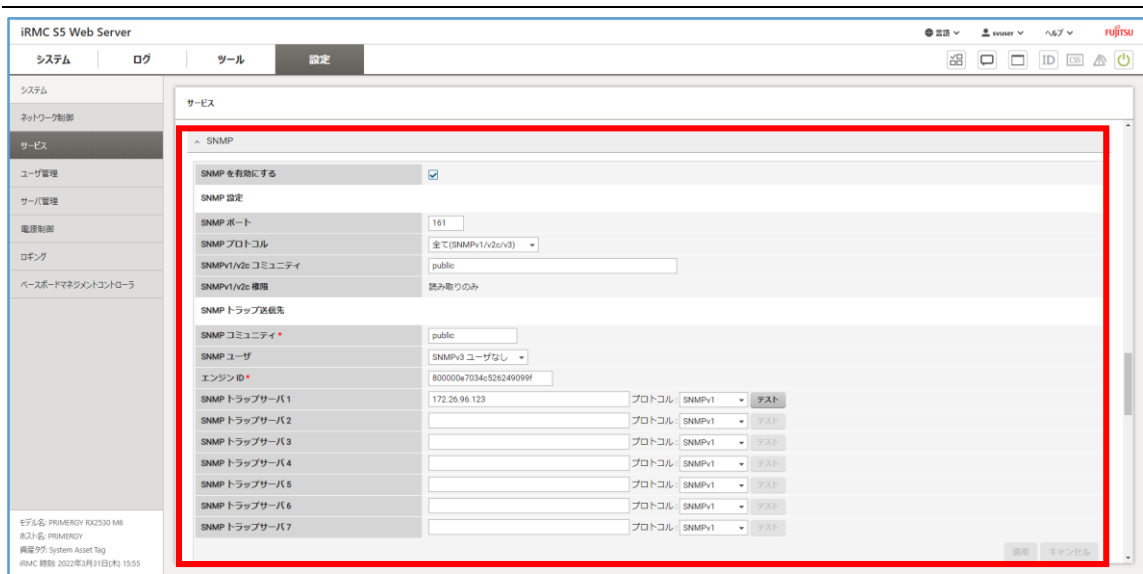


図 2 SNMP 設定画面 1

画面右下の適用ボタンをクリック

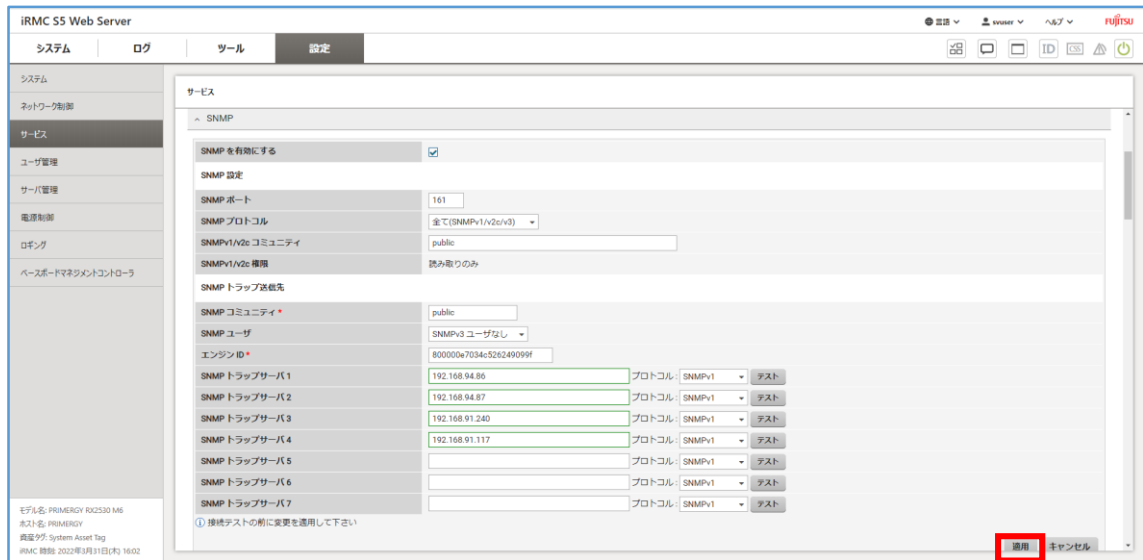


図 3 SNMP 設定画面 2

以上で iRMC の SNMP 設定が完了しました。

3.2 PRTG での設定

3.2.1 デバイス(監視対象)として iRMC を追加

PRTG は監視対象機器をデバイス(監視対象)として追加して監視を行います。iRMC の IP アドレスを PRTG のデバイスとして追加します。

PRTG の Web GUI で次の操作を行います。

- ・ 「+」アイコン | [デバイスの追加]をクリック
- ・ デバイスを登録する場所を選択して[OK]をクリック

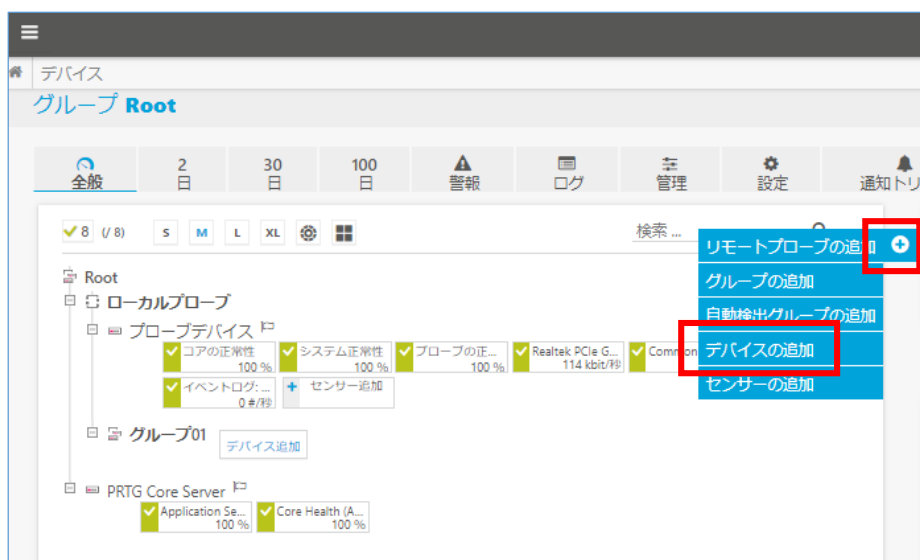


図 4 PRTG Web GUI デバイスツリー画面

- ・ 「新規デバイスの追加」画面で以下を入力して[OK]をクリック

デバイス名:<任意のデバイス名>

IPv4 アドレス/DNS 名:<iRMC の IP アドレス>



図 5 新規デバイスの追加画面

デバイス(監視対象)として iRMC の IP アドレスで PRIMERGY が追加されました。



図 6 デバイスツリー画面

3.2.2 「SNMP デバイスの資格情報」の設定

iRMC と SNMP で通信するために「SNMP デバイスの資格情報」を設定します。「SNMP デバイスの資格情報」の設定はデフォルトでは root オブジェクトの設定を継承します。資格情報の継承については簡易マニュアルをご参照ください。

本資料では「SNMP デバイスの資格情報」を root オブジェクトから継承せず、デバイスで個別に設定します。PRTG の Web GUI で次の操作を行います。

※デフォルトではすべてのオブジェクトは root オブジェクトの設定を継承します。root オブジェクトに以下の設定を行うことも可能です。

- ・ 追加したデバイスをクリック
- ・ [設定]をクリックして設定画面に移動
- ・ 「SNMP デバイスの資格情報」のチェックボックスを外す

各設定を PRIMERGY の iRMC で SNMP を有効化で設定した SNMP 設定と一致させます。

SNMP バージョン: SNMP v2c (推奨) (チェックする)

コミュニティ文字列: public (デフォルト設定)

SNMP ポート: 161 (デフォルト設定)

タイムアウト(秒): 5

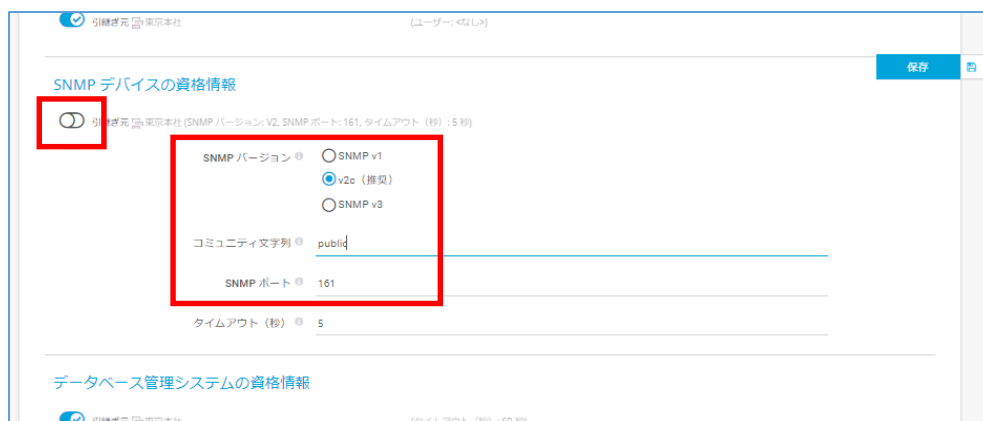


図 7 デバイスの設定画面

[保存]をクリック

SNMP で通信する設定ができました。

3.2.3 SNMP Fujitsu システム正常性 v2 センサーの追加

PRTG はセンサー(定義済み監視項目)をデバイスに追加して監視を行います。「SNMP Fujitsu システム正常性 v2」センサーを追加します。PRTG の Web GUI で次の操作を行います。

- ・ デバイスの[センサー追加]をクリック



図 8 デバイスツリー画面

- ・ 「センサーの追加」画面で検索欄に「fujitsu」と入力



図 9 センサーの追加画面

- ・ センサー候補が表示される
 - ・ 「SNMP Fujitsu システム正常性 v2」をクリック
 - ・ 監視可能なハードウェアコンポーネント一覧が表示される
 - ・ 監視したいハードウェアコンポーネントをチェック
 - ・ [作成]をクリック
- チェックしたハードウェアコンポーネントごとにセンサーが作成される

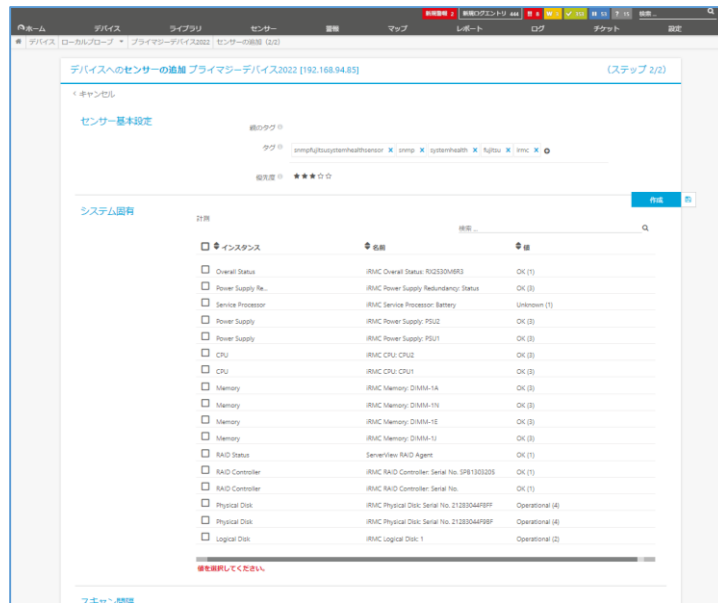


図 10 監視可能なハードウェアコンポーネント一覧表示

3.2.4 「SNMP Fujitsu システム正常性 v2」センサーで監視できるコンポーネント例

「SNMP Fujitsu システム正常性 v2」センサーは監視するコンポーネントごとにそれぞれセンサーとして作成されます。「SNMP Fujitsu システム正常性 v2」センサーで監視できるコンポーネント例を紹介します。※監視できるコンポーネントは機器構成に依存します。

3.2.4.1

CPU



3.2.4.2

Logical Disk



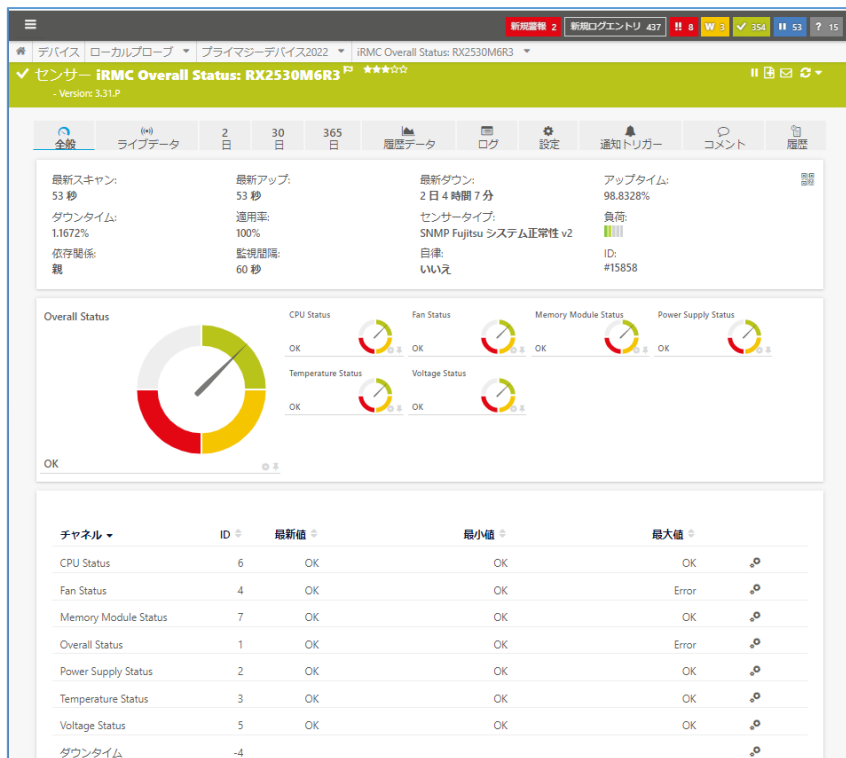
3.2.4.3

Memory

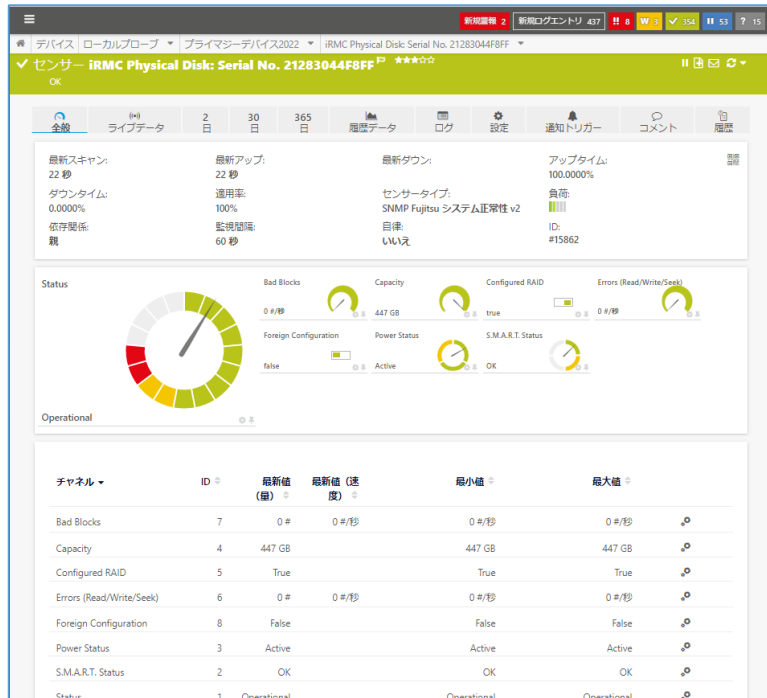


3.2.4.4

Overall Status



3.2.4.5 Physical Disk



3.2.4.6 Power Supply Redundancy



3.2.4.7 Power Supply



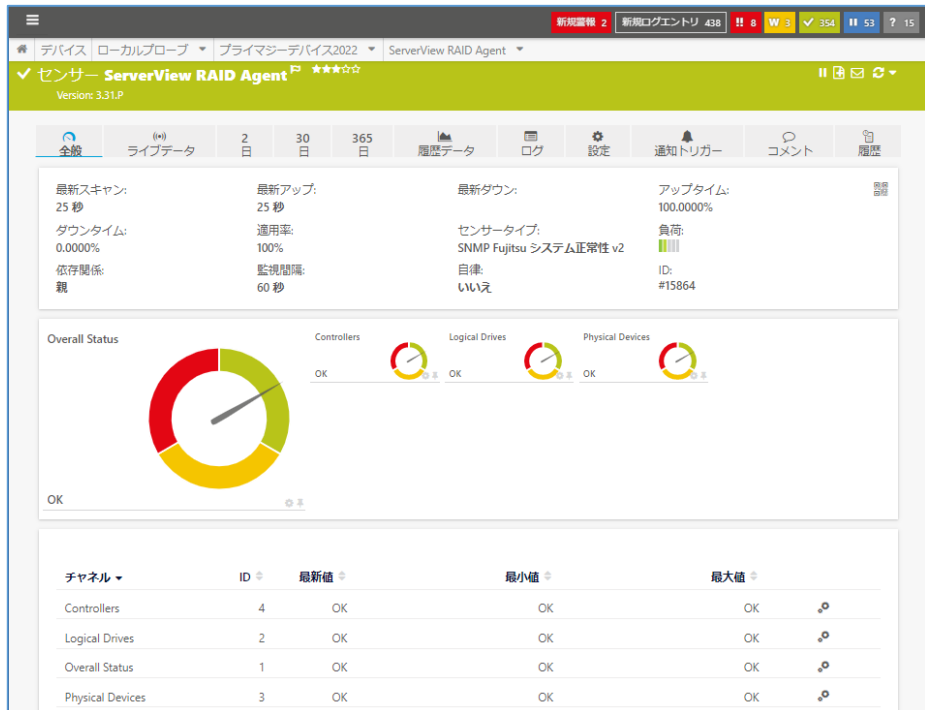
3.2.4.8 RAID Controller



3.2.4.9 Service Processor: Battery



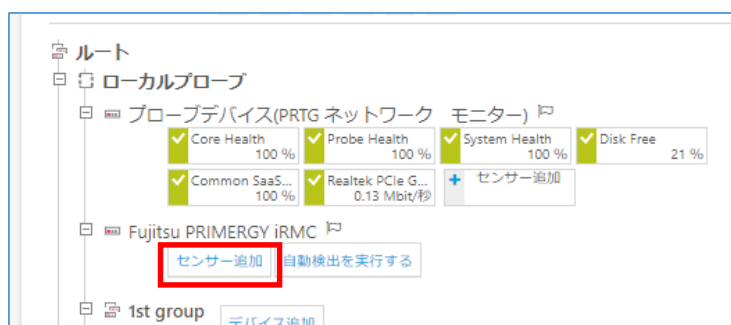
3.2.4.10 ServerView RAID Agent



3.2.5 SNMP トラップレシーバーセンサーの追加

iRMC が発呼する SNMP トラップメッセージを受信して監視します。PRTG の Web GUI で次の操作を行います。

- ・ デバイスの[センサー追加]をクリック



・ 図 11 デバイスツリー画面

- ・ 「センサーの追加」画面で検索欄に「トラップ」と入力
- ・ センサー候補が表示される。
- ・ SNMP トラップレシーバーをクリック
- ・ [作成]をクリック



・ 図 12 SNMP トラップレシーバーセンサー全般画面

センサーが追加されます。監視が始まるとセンサーが緑色のアップステータスに変化します。

3.2.5.1 SNMP トラップレシーバーセンサーのメッセージ画面

トラップレシーバーセンサー[メッセージ]タブで、iRMC からのトラップメッセージが確認できます。特定のメッセージをトリガーとしてアラートを発報することができます。詳細はジュピターテクノロジーの資料をご参照ください。

[SNMP トラップレシーバーセンサー紹介資料](#)

Source	Agent	Enterprise	Bindings	GenTrap	SpecTrap	TimeTicks	Version	
2022/04/05 11:27:34	192.168.94.85	192.168.94.85	INTEL-WFMA-MIB::wfmTrapInfo	INTEL-WFMA-MIB::wfmTrapDetails = 9F08496254CAA4511FE613542D817D00008924C277AFF20200206700001FFFF9800 0000019000000000000C1 INTEL-WFMA-MIB::wfmTrapType.0 = Power unit: power supply redundancy test	6	592641	943571	1
2022/04/05 11:25:05	192.168.94.85	192.168.94.85	FSC-SERVERCONTROL2-MIB::sc2Notifications	FSC-SERVERCONTROL2-MIB::sc2TrapInfoServerName.0 = iRMC40099F FSC-SERVERCONTROL2-MIB::sc2TrapInfoTime.0 = 0	6	2000	943422	1
2022/04/05 11:24:25	192.168.94.85	192.168.94.85	INTEL-WFMA-MIB::wfmTrapInfo	INTEL-WFMA-MIB::wfmTrapDetails = 9F08496254CAA4511FE613542D817D00008924C277AFF2020020670000100FF0000 0000019000000000000C1 INTEL-WFMA-MIB::wfmTrapType.0 = iRMC i3 Redfish session creation for user 'touser' login from 192.168.94.87	6	1315873	943382	1

図 13 SNMP トラップレシーバーセンサー[メッセージ]タブ

4 まとめ

PRTG の「SNMP Fujitsu システム正常性 v2」センサーで「PRIMERGY」サーバーのハードウェアコンポーネントステータスを iRMC 経由で監視することができました。

PRTG の「SNMP トラップレシーバー」センサーで iRMC からの SNMP トラップを監視することができました。

5 免責事項・使用限定事項

ジュピターテクノロジー株式会社(以下当社と略記します)が作成した本ドキュメントに関する免責事項および本ドキュメント使用に関する限定事項は以下の通りです。

- ・ **本ドキュメントに関する免責事項**

本ドキュメントは作成時点においてメーカーより提供された情報および当社での検証結果により作成されたものですが、当社は本ドキュメントの内容に関していかなる保証をするものではありません。万一、内容についての誤りおよび内容に基づいて被った損害が発生した場合でも一切責任を負いかねます。本ドキュメントの内容によりなされた判断による行為で発生したいかなる損害に対しても当社は責任を負いません。

- ・ **本ドキュメント使用に関する限定事項**

別に定める場合を除いて、本ドキュメントの取り扱いは当社より提供を受けたお客様による私的かつ非営利目的での使用に限定されます。お客様は、本ドキュメントについて、変更、コピー、頒布、送信、展示、上映、複製、公開、再許諾、二次的著作物作成、譲渡、販売のいずれも行うことができません。

ジュピターテクノロジー株式会社 (Jupiter Technology Corp.)

住所： 〒183-0023 東京都府中市宮町 2-15-13 第 15 三ツ木ビル 8F
URL： <https://www.jtc-i.co.jp/>
電話番号： 042-358-1250
FAX 番号： 042-360-6221
お問い合わせ先： <https://www.jtc-i.co.jp/contact/index.html>

日本語ユーザマニュアル発行日 2022 年 04 月 28 日
ジュピターテクノロジー株式会社 技術グループ

PRTG 富士通 PRIMERGY サーバー監視手順書

Rev. 1.0

16

